

## 第9節 その他施設

### 全市対応施設（供給処理施設、市民病院、斎苑）

#### 供給処理施設

施設名称	地区	建築年度	対象棟数	延床面積	建物性能		施設の収支		利用・稼働状況	
					老朽化率	耐震性	合計	市民一人当たり	処理量	稼働率
浄化センター	上野	昭和59年度	3棟	3,705㎡	62.7%	有	-350.5百万円	-3,606円/人	53,834kL	98.3%
さくらリサイクルセンター	上野	平成14年度	3棟	10,811㎡	13.2%	有	-365.4百万円	-3,759円/人	20,602t	50.9%
不燃物処理場	上野	平成8年度	1棟	96㎡	37.8%	有	2.6百万円	27円/人	1,249t	65.0%
合計			7棟	14,613㎡	-	-	-713.3百万円	-7,338円/人	75,684人	-

#### <適正配置の方向性>

##### <今後の方向性（案）>

- ・ 浄化センターは、設備の老朽化に伴う建替えや改修などの検討を予定しています。
- ・ さくらリサイクルセンターは、現在地での稼働期限が平成32（2020）年度までの予定となっていることから、今後の廃棄物処理のあり方の検討が必要です。将来的には、伊賀南部環境衛生協同組合（名張、青山エリア）との事務の共同化などを検討していくことが考えられます。
- ・ 不燃物処理場は、今後10年程度利用可能な容量がありますが、将来的には民間への事業委託などを検討していく必要があります。

#### 市民病院

施設名称	地区	建築年度	対象棟数	延床面積	建物性能		施設の収支		利用・稼働状況		
					老朽化率	耐震性	合計	利用者当たり	利用者数	病床数	稼働率
上野総合市民病院	上野	昭和52年度	5棟	16,275㎡	57.8%	有	-559.5百万円	-5,649円/人	99,045人	281床	30.2%
合計			5棟	16,275㎡	-	-	-559.5百万円	-5,649円/人	99,045人	281床	-

#### <適正配置の方向性>※45

##### <現状と課題>

- ・ 医師不足により全281床のうち150～160床程度しか活用できておらず、入院患者が少ないこともあり、一般会計からの補てんで赤字を補っている状況です。
- ・ 外部コンサルを活用した経営改善等により、ここ数年は赤字幅が減少しています。
- ・ 平成22（2010）年度から平成23（2011）年度にかけて、耐震改修などを実施したものの、配管や空調設備の老朽化が進行しています。

##### <今後の方向性（案）>

- ・ 医師や看護師を確保し、赤字の解消に向けて取り組む必要があります。

※45 市民病院の稼働率は、〈過去3年間の病床の利用実績÷病床数（281床）〉で計算しています。

## 斎苑

施設名称	地区	建築年度	対象棟数	延床面積	建物性能		施設の収支		利用・稼働状況	
					老朽化率	耐震性	合計	市民一人当たり	取扱件数	稼働率
斎苑	上野	平成元年度	1棟	999㎡	42.0%	有	-15.0百万円	-155円/人	1,066件	43.2%
合計			1棟	999㎡	-	-	-15.0百万円	-155円/人	1,066件	-

### <適正配置の方向性>

#### <協議、検討中の事項>

- 合併後、周辺自治体と同程度の水準まで火葬料金を値上げするなど、受益者負担の適正化を図ってきた経緯があります。

#### <今後の方向性（案）>

- 今後は、高齢化に伴い利用の増加が見込まれることから、運営時間の延長や設備の整備などにより対応を検討していく必要があります。

## その他施設

施設名称	地区	建築年度	対象棟数	延床面積	建物性能		施設の収支		利用・稼働状況		
					老朽化率	耐震性	合計	利用者一人当たり	利用者数	利用件数 区画数など	稼働率
共同浴場しろなみ湯	上野	昭和51年度	1棟	328㎡	74.8%	無	-6.4百万円	-222円/人	28,942人	-	48.2%
環境センター	上野	平成13年度	1棟	840㎡	24.3%	有	-77.6百万円	-	17人	117件	83.8%
市民農園管理施設	上野	平成8年度		160㎡	58.8%	有	-2.5百万円	-2,718円/人	927人	141区画	57.2%
島ヶ原農産物処理加工施設	島ヶ原	昭和62年度	1棟	240㎡	62.1%	有	-0.1百万円	-327円/人	364人	53日	14.4%
合計			3棟	1,568㎡	-	-	-86.6百万円	-2,864円/人	30,250人	-	-

### <適正配置の方向性> ※46

#### <今後の方向性（案）>

- 共同浴場しろなみ湯は、「やはたまちづくり計画」との関連で今後の必要性を検討していく必要があります。
- 環境センター※47は、さくらリサイクルセンターの今後のあり方と合わせて検討していく必要があります。
- 市民農園管理施設は、過去3年間の貸出実績の平均が6割程度のため、利用率の向上を図るとともに、指定管理料の見直しを検討していく必要があります。
- 島ヶ原農産物処理加工施設は、今後のあり方を含めて検討していく必要があります。

※46 共同浴場しろなみ湯の稼働率は<過去3年間の平均利用者数÷定員>、環境センターの稼働率は<過去3年間の環境調査等の平均件数÷環境調査の実施可能件数（140件）>、市民農園管理施設の稼働率は<過去3年間の平均区画貸出数÷区画数>、農産物処理加工施設の稼働率は<過去3年間の利用日数÷利用可能日数（365日）>で計算しています。

※47 環境センターの利用者数の欄には、平成21（2009）年度から平成23（2011）年度の平均職員数を記載しています。